

## 5 赤潮の発生状況

表 5-3 赤潮による漁業被害一覧（平成 30 年）

番号	赤潮発生期間 (日数)	発生海域 (府県名)	漁業被害の 期間・水域	被害内容（魚種・へい死尾数(尾)）	被害金額 (千円)	赤潮構成プランクトン (最高細胞数)
①	3/2 ~ 3/26 (25)	大阪湾 (大阪府)	3/2~3/19 泉南市から岬町にかけ ての沿岸域	漁獲物又は蓄養魚介類 ハマチ（蓄養） 約3,000 トラウトサーモン（海上釣堀） 約700 天然魚介類 コウイカ、マダコ、カサゴ、 クロダイ、ベラ類、マナマコ 不明	不明 不明 不明	<i>Alexandrium tamarense</i> (9200 cells/ml)
②	6/11 ~ 8/16 (67)	豊後水道 (大分県)	6月下旬~7月上旬 佐伯湾	養殖魚介類 ヒラメ 2,265 ブリ 不明 マグロ 不明 蓄養魚介類 トコブシ 不明 アワビ 不明 マアジ 980 kg マダイ 327 kg	不明 不明 不明 不明 不明 不明 不明	<i>Karenia mikimotoi</i> (37,000 cells/ml)
③	6/14 ~ 8/21 (69)	豊後水道 (愛媛県)	7~8月 宇和海北部・中部・南 部	養殖魚介類 マダイ 9,600 トラフグ 9,500 スズキ 11,000 カンパチ 38,500 シマアジ 15,700 マハタ 100 ブリ 7,800 ヒラメ 5,000 ヒラマサ 1,000 マグロ 1,000 カワハギ 3,000 アワビ 4,560	15,016 11,250 13,158 86,888 4,254 320 17,156 2,200 3,000 75,000 900 1,586	<i>Karenia mikimotoi</i> (84,000 cells/ml)
④	6/22 ~ 7/20 (29)	豊後水道 (大分県)	6月中旬 入津湾	蓄養魚介類 モジャコ 2,188	不明	<i>Prorocentrum triestinum</i> (37,000 cells/ml)
⑤	8/1 ~ 8/14 (14)	備讃瀬戸 燧灘 (香川県)	8/9 燧灘東部  8/10 備讃瀬戸西部 (栗島地先)	漁獲物又は蓄養魚介類 小型定置網 スズキ、コチ類、メバル、 ブリ当歳魚、ウシノシタ類 不明  養殖魚介類 トラフグ 約18,000	不明 不明	<i>Karenia mikimotoi</i> (22,000 cells/ml)
⑥	8/6 ~ 8/11 (6)	紀伊水道 (和歌山県)	8/6 白浜町古賀浦	養殖魚介類 カンパチ 23	60	<i>Karenia mikimotoi</i> (131 cells/ml) <i>Heterosigma akashiwo</i> (2,057 cells/ml)
⑦	8/10 ~ 9/20 (42)	豊後水道 (大分県)	8月中旬~下旬 入津湾	養殖魚介類 カワハギ 2,810	不明	<i>Prorocentrum dentatum</i> (40,000 cells/ml)
⑧	8/17 ~ 9/20 (35)	豊後水道 (大分県)	8月下旬 入津湾	養殖魚介類 ブリ類等 不明	不明	<i>Chattonella</i> sp. (300 cells/ml)
⑨	9/14 ~ 10/2 (19)	豊後水道 (愛媛県)	9月 宇和海（宇和島湾）	養殖魚介類 シマアジ 10,000	2,380	<i>Heterosigma akashiwo</i> (77,750 cells/ml)

注) 1. 出典では瀬戸内海に含まれているため、瀬戸内海環境保全特別措置法の対象地域外についても記載した。

2. 湾・灘の区分は「瀬戸内海の赤潮」に準ずる。

出典：「瀬戸内海の赤潮」（水産庁瀬戸内海漁業調整事務所、令和元年5月）